

吹田西ロータリークラブ ウィークリー



ロータリーの未来は
あなたの手の中に | THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

2009～2010 — 創立30周年 —

■ 創立 1980.6.12
 事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
 ☎(06)6338-0832 FAX(06)6338-0020
 URL <http://www.suita-west-rc.com>
 例会場 江坂東急イン
 ☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06)6338-0109
 例会日 毎月曜日 18:00～19:00
 例役員 会長：仲辻 章 幹事：清水大吾 会報委員長：岡 信行

4つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

第1361回 例会 平成22年2月15日

卓話「職業奉仕について」

職業奉仕 坂口理事

今週の歌 「奉仕の理想」

先週内容

会長挨拶

仲辻会長



毎日新聞インターネット版は、キリンホールディングスとサントリーホールディングスは、8日経営統合交渉を打ち切ると発表した。最大の焦点だった統合比率について折り合わなかった、と報じています。

上場会社と非上場会社の統合で、とくに非上場会社であるサントリーホールディングスの会社資産の評価が一番難しかったと考えます。

これにからみ、私は現在、会社分割という反対の事例を扱っています。息子二人が会社に入ってくれたので、安心して会社を任せられることができると、親は息子二人に株式を持たせたのですが、息子たちが結婚し、孫ができるにつれて、会社経営にからむ争いが起こってきた。これを解決するためには、二人の息子をそれぞれたて、しかも会社を存続させながら、それぞれの経営を成り立たせる、という方策が必要です。同族会社といっても、所詮、株主間の争い、株式数による比率の争いとなります。

この会社は、工場が4工場ありますので、業態

世界理解月間

次週 第1362回例会予告 平成22年2月22日

卓話「私の職業」 榎原会員

Weekly No. 1361は岡委員長が担当しました。

Weekly No. 1362は水間副委員長が担当の予定です。

(本日の原稿をお渡し下さい)

の違う二つの会社に分割するのが良いと考えています。会社法第757条以下に、会社分割についての規定があります。吸収分割と新設分割との二方法がありますが、新設分割の方法をとるのが良いと考えているところです。

会員の皆さんの会社でも、このようなケースがあるのではないのでしょうか。その折りには、私なり、長屋会員になりご相談下さい。少しPRになりましたがお許し下さい。

幹事報告

清水幹事

- ・ 2月ご結婚月お祝いの方を申し上げます。記念品はご自宅へお届けとなります。
- ・ 熊平製作所様より「抜萃のつづり」その69号が届けられました。BOXへお配りしましたので、ご一読下さい。
- ・ 次年度ロータリー手帳のご案内を回覧致します。1部630円です。2月25日までに申し込み下さい。

出席報告

伊藤委員長

- 会員数 49名 ● 来客 0名
- 出席会員数 40名 ● 本日の出席率 90.91%
- 1月18日の出席率(メーキャップを含む) 100%

ロータリー財団委員会

蔵田委員長

ロータリー財団より、08-09年度年次報告書が届いています。ポリオチャレンジにおいて、多大なるご協力ありがとうございました。報告書を回覧しますので、内容の方、是非ご確認ください。

ニコニコ箱

勝副SAA

◆ 清水会員

30周年マッチンググラント代表団の皆様、よろしくお願ひ致します。お気を付けて!! 無事のご帰国を待っております。

◆ 阪本会員

タイ訪問団の皆様、元気で帰って来て下さい。

◆ 右松会員

誕生日のお祝ひありがとうございます。

◆岡会員

家内の誕生日のお祝いを有り難うございました。

◆鈴木会員

連続欠席のお詫び。

◆瀧川会員

誕生日祝いの有り難うございました。昆布でお茶漬け食べてます。

本日のニコニコ箱 20,000円
累計のニコニコ箱 685,000円

卓 話

「近年のロータリーについて」

瀧川バスト会長



今月、2月23日はロータリーの創立記念日です。今年で105年の歴史を数えることとなります。

我が吹田西ロータリークラブは1980年の創立ですから今年で30年となり、この6月7日に記念式典を開催するため、現在、家村実行委員長のもと準備を進めているところであります。

さて、今日は長い歴史を重ねるロータリークラブが、どの様に発展し成長し続けてきたのか？というところが大変興味深いものがありますので、その過程を探ってお話をしていきたいと思いますが、何といても100年を超える歴史ですから、30分ではとても話せないと思いますので、近年になって変化した事項と、今後向かうと思われる方向を話してみたいと思います。

ロータリーの創始者のひとりであるポール・ハリスの言葉に「世界は変わる、よってロータリーも変わらなければならない」というのがあります。

このように長い歴史を持ち、しかもその組織を拡大させ、多くの活動実績を誇り、時代を超えて発展してきたロータリークラブの持続性の要因は、何処にあるのかを考えてみると、やはり時代とともに変化する世界の情勢にいち早く対応した組織の在り方や、的を得た活動の方向性が間違っていないかではないかと思えます。

さて、そういう意味から考えますと、2007年の規定審議会でも国際ロータリー定款が改正されて(代議員の3分の2が賛成という高いハードルをクリアして)

1. 地域社会リーダー

2. 財団学友

が会員資格として加えられました。

ロータリーは、長い歴史を通じて、企業の経営者や専門職種の持ち主を会員として、特色ある奉仕団体を今日まで続けてまいりました。

職業人の集い、集団であると言われてきましたが、職業を持たなくても、地域のリーダーがロータリアンになれる事は、団体の性格、特色に明らかな変化が生まれてくるものと思われれます。

財団学友は財団奨学生やGSEの経験者ですが、彼等は役員、支配人、など裁量の権限のある管理職の重要な地位、などの条件は適用されません。

1業種1人の原則はすでになく、かつてのロータリアンがもっていたステータスがどんどん失われていくことになるかもしれません。とすれば、ステータスに代わる何かをこれからロータリーは求められます。

これからのロータリーの進む方向として、2009年11月、RI理事会は修正を加えた国際ロータリーの長期計画を採択しました。この計画は、「強力なクラブ」、「効果的な奉仕」、「認知されるブランド」という3つの基本要素の推進に焦点を当てています。

2010年7月1日から有効となるこの新計画では、各項目に具体的に測定可能な活動目標が挙げられております。活動項目は必要に応じて修正が可能です。

また、「国際ロータリーの使命」として、「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職種及び地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する」。さらに「国際ロータリーのビジョン」は「私たちは、全世界社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕団体である」と記されています。

国際ロータリーのビジョンは、「大きくて、より良い、大胆な夢を持つ」という理念から再検討されました。「ロータリーを魅力あるものにしよう」、「活力的で、適切な奉仕をするクラブの活動が、地域社会や国際社会において認められるようにしよう」という願いからです。

以上からも、これからのロータリーの在り方や、活動は、幅の広い多様性のある方向へと進むものと思われれます。

—— クラブ俳句同好会 ——

第二百六十八回句会

第二百六十七回句会

<p>兼題 「春寒」猫の恋」及び雑詠</p> <p>傷つきて行く恋猫として戦</p> <p>憲治</p>	<p>春寒し今日の歩幅はや、狭し</p> <p>春寒やハーフコートの膝頭</p> <p>春寒やセールの地下に熱気あり</p> <p>主宰の一句</p> <p>みあきよ</p> <p>みかよ</p> <p>憲治</p>	<p>兼題 「新年一切」及び雑詠</p> <p>帰る家失くして久し女正月</p> <p>大吉を結び直して初神籤</p> <p>乗初はかはることなし梅田行</p> <p>「主宰の一句」</p> <p>放水をしてより左義長始まれり</p> <p>憲治</p>	<p>憲治 「特選」</p> <p>みかよ</p> <p>山牛</p> <p>あきよ</p> <p>憲治</p>
--	--	---	--

【今後の予定と兼題】

第二百六十九回句会 平成22年2月22日

兼題 「薄氷」「野焼」当季雑詠 ※出句は7句